

1 東日本大震災について

2011(平成23)年3月11日午後2時46分頃に三陸沖の深さ約25kmでマグニチュード9.0の大地震が発生し、県内最大震度6弱(成田市, 印西市), 震度5強(銚子市ほか20市区町), 震度5弱(茂原市ほか26市区町)を記録しました。

その後、午後2時49分には九十九里・外房地域に津波警報、午後3時14分には大津波警報が発令され、午後4時08分には内房地域にも大津波警報が発令され、津波注意報が全て解除されたのは3月13日午後5時58分でした。また、県内の津波観測値は、銚子2.5m, 館山1.7m, 千葉0.9mでした。

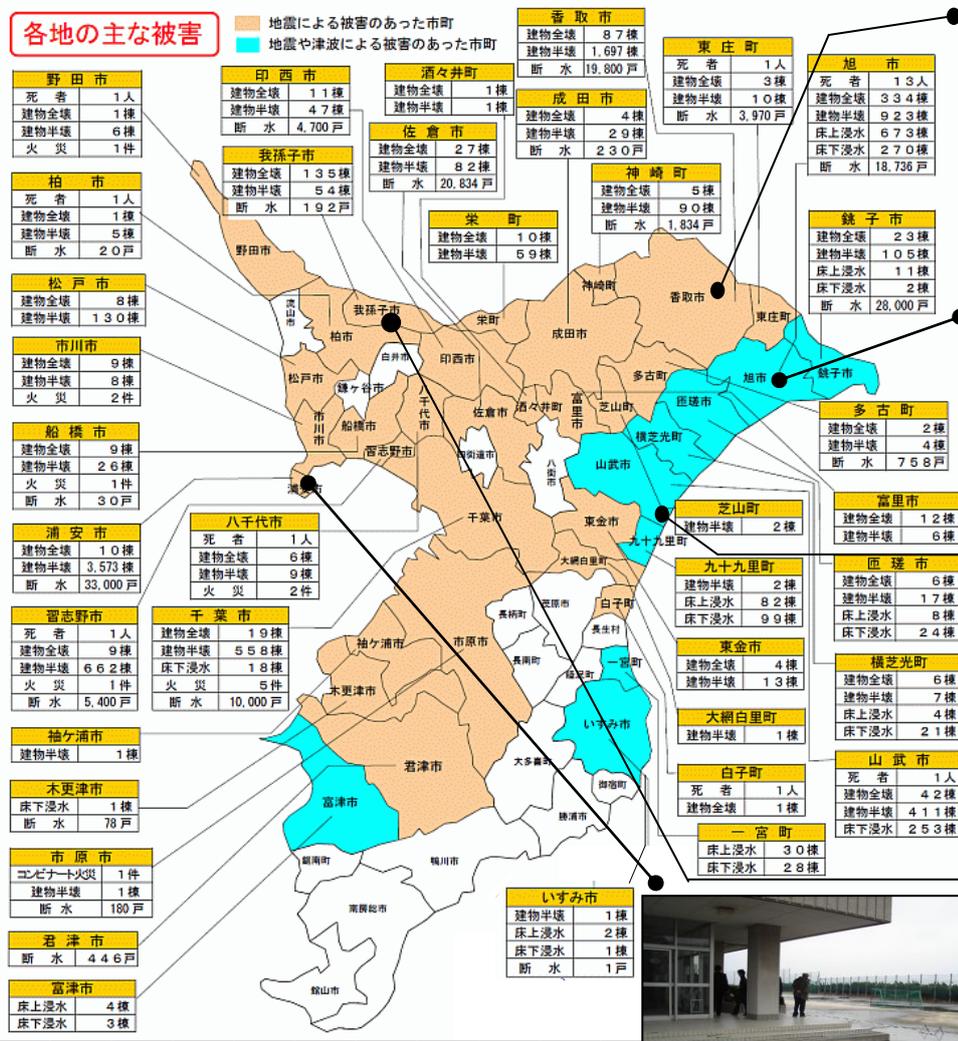
2 東日本大震災による県内の被害状況

【被害の概況】 【平成23年8月1日現在 千葉県防災危機管理課調べ】

【人的被害】	○死者	20人	○行方不明者	2人	○負傷者	249人
【建物被害】	○全壊	785棟	○半壊	8,540棟	○一部破損	29,075棟
	○床上浸水	814棟	○床下浸水	720棟	○建物火災	12件



各地の主な被害



【地震被害：香取市】
香取市役所近くの港橋では、地面が隆起しました。



【津波による被害：旭市】
漁船が津波によって陸上へ押し流されてきました。



【津波による被害：山武市】
津波が山武市内木戸川の木戸川を遡上し、町に流れ込みました。



【液状化被害：浦安市】
県立浦安南高等学校では、地面が大きく陥没しました。

【液状化被害：我孫子市】
内陸部の我孫子市布佐地区でも液状化現象による被害がありました。

3 被害の特徴

(1) 津波被害

県内では、旭市飯岡町が甚大な被害を受け、浸水面積17k㎡, 最大波7.6m, 最大浸水距離約3km, 死者13人, 全壊361棟にも及びました。

(2) 液状化

県内の液状化による被害は、約12,000世帯にも及び、中でも浦安市は約7,900世帯と甚大な被害を受け、ライフラインの復旧にかなり時間がかかりました。

このほか、習志野市, 千葉市, 香取市など15市町でも被害がありました。

東日本大震災について